



楽しかったかな、3年間！ 卒業おめでとう！！

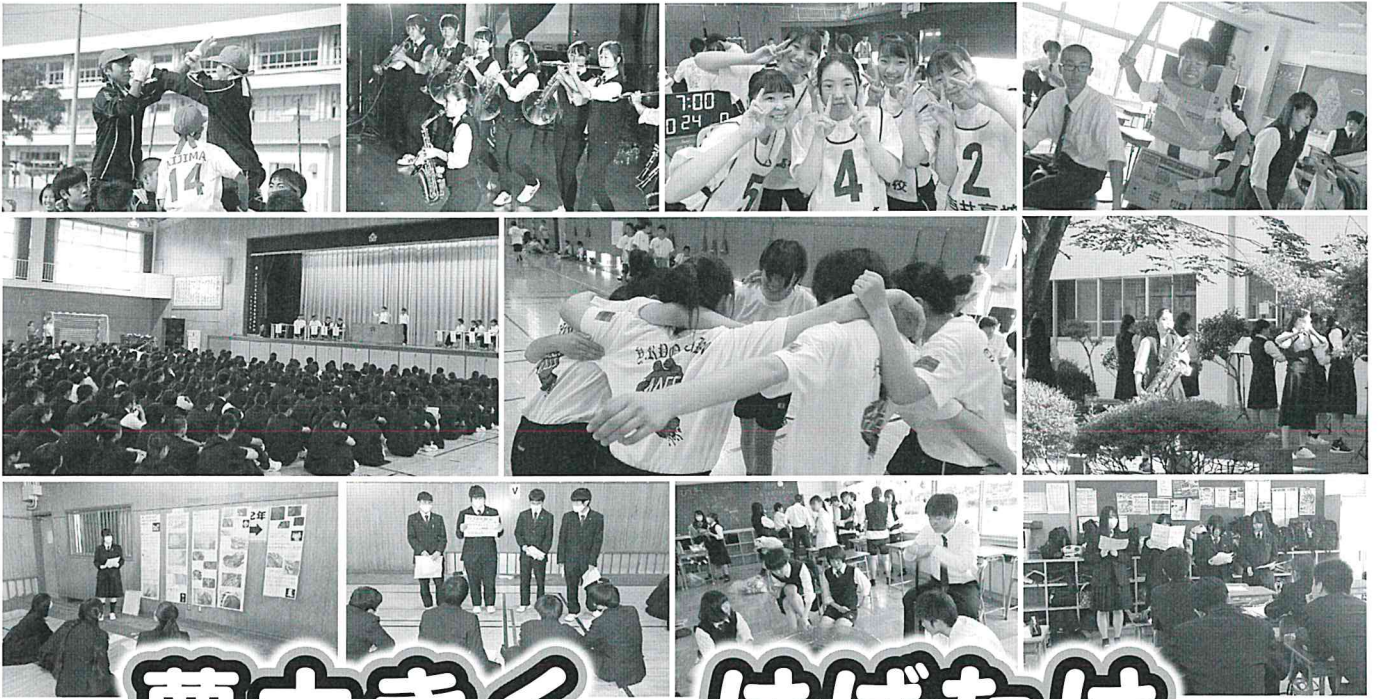
第101号の紙面

主な記事

- 2面/会長・校長あいさつ
- 3面～5面/卒業にあたって（保護者のページ）
- 6面/卒業生の進路状況
- 7面/学校行事報告
- 8～9面/学年報告
- 10面～11面/部活動報告
- 12面/PTA活動報告、編集後記

【発行】会長 山田 和久

【編集】会報編集委員会（委員長 白木 泰子）



夢大きく、はばたけ



卒業にあたって

PTA会長 山田 和久

第四十四期の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。さて、皆様卒業とはゴールのような感じがしますが、これはスタートです。これからそれぞれの道に進んでいく皆さんの将来には、希望にあふれた広々とした未知への可能性ばかりです。その可能性に対して皆さんは、精いつばいの体当たりを敢行されるわけですが、これからの人生航路は、決して順風満帆だけという訳にはいかないことも言う

までもないでしょう。問題となるのは困難に出会ったとき、大きな失敗をしたあと、これを自分自身の肉とし血として大きく前進するかということでしょう。トーマス・エジソンの名言集に「失敗すればするほど我々は成功に近づいている」という言葉があります。皆さんは、失敗を恐れず、この吉井高校の卒業生であることを誇りとし、前向きに胸を張って進んで行ってください。

最後に皆さんは、明日からは、吉井高校の卒業生として、誇りを持って校歌にもあるように世界に大いにはばたいてください。皆さんの活躍を楽しみにしています。輝け、吉井高校第四十四期生。



お祝いの言葉

校長 小松 祐一



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、ご子息・ご息女が本日、晴れの日を迎えられましたことを、ここに心よりお祝い申し上げます。また在学中には、本校の教育活動に多大なるご支援を賜り、誠に有難うございました。

これから新たな人生の旅路に発つ皆さんにはなむけの言葉を贈ります。
1つ目は、向上心を持ち、学び続けてください。皆さんは、本校での学習を通して、多くの知識や技能を習得しましたが、それは社会で生きていくための「学ぶための基礎・基本」と「学び方」を身につけたに過ぎません。言うなれば、学びのスタートラインに立ったに過ぎません。学びの場所は学生時代だけにとどまりません。いかなる時、環境においても敬虔な気持ちで、学びを求め、堅固たる決意を持って励んでください。必ずや皆さんの未来を色鮮やかに彩っていくことでしょう。

3つ目は、皆さんの3年間で得た最も大きな財産は、「人の出会い」です。皆さんが卒業を迎えるまでには、多くの人の支えがあったはずです。皆さんを暖かい眼差しで見守り、成功の数だけ喜び、躓きの数だけ涙を流してくれた人達がいたはずです。当たり前と思う3年間には、何人の、幾つの支えがあったか思い起こすことができるでしょうか。多くの支えに感謝し、今後は自分支えてあげる立場になってください。そして、挫けた人に手を差し伸べてあげてください。

卒業生の皆さんは、入学式に大きな希望を抱き、本校の門をくぐってから瞬く間に3年の歳月が過ぎ去ったのではないでしょう。灼熱の真夏の振り返りや、凍てつく冬風にも負けず生徒玄関前の「夢に挑戦! はばたけ 吉井高生!!」のスローガンを仰ぎ、全力で高校生活に打ち込む皆さんの姿があったことでしょう。そして、皆さんの胸中には、学習や部活動、学校行事等の教育活動を通して、多くの挑戦、感動があったことでしょう。それらは、全てが美しい成功ばかりではなく、時には躓き、悩んだ経験でもあったことでしょう。その一つ一つの経験が、かけがえのない人生の糧となっています。

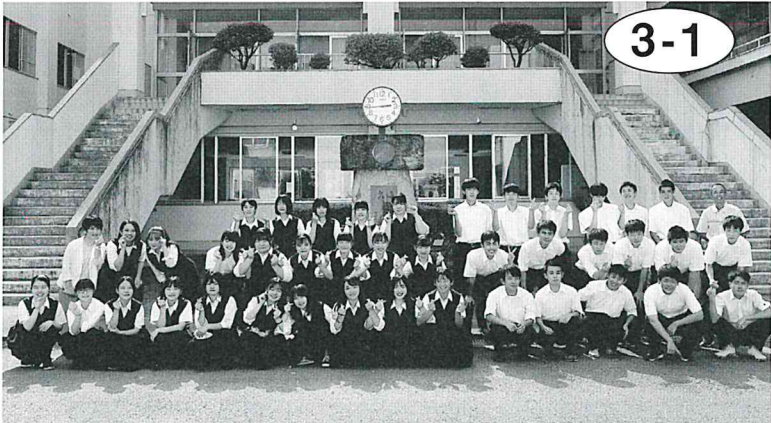
2つ目は、夢を抱き未来に挑戦し続けてください。皆さんは、一人ひとり誇れる可能性を秘めています。夢を心に深く刻み、事に挑めば如何なることもやり遂げる若さと忍耐力があります。時には努力の過程で功を求めるときに不安や焦燥に苛まれ、自分の不器用さに気づくこともあるかもしれません。しかし、自分を信じ、諦め

結びに、保護者の皆様、ご子息・ご息女の輝かしい前途を祈念いたしますと共に、今後とも本校への変わりぬ「理解・ご支援」をお願い申し上げます。

卒業にあたって

～ 保護者のページ ～

3年1組



3-1

卒業にあたって

1組担任 反町 由美

保護者の皆様、卒業生の皆さん。本日は卒業おめでとうございます。吉井高校での三年間はあつという間だったのではないのでしょうか。特にこの一年はコロナ感染症の流行で未だかつて経験のしたことのない学校生活を送ることになりました。しかし、当たり前が当たり前でなくなった日常はマイナスだけではありませんでした。学校に来

られない日々には人の繋がり、友人と一緒に学校で勉強し、同じ時間を共有する大切さに改めて気づいてくれました。逆境からも大きな学びも得て成長した姿に正直涙しました。今日からそれぞれ自立の道を更に突き進んでいく子どもたちに心からエールを送りたいと思います。また保護者の皆様には常に温かく、吉井高校での生徒の活動にご協力いただきまして本当にありがとうございました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

卒業にあたって

櫻井 由紀乃

心配しかなかった高校生活ですが、あつという間に過ぎてしまいました。自分の思ったことを言葉にすること、人をまとめることが苦手な息子がソフトテニス部の部長になった時は心配がありませんでした。部長になった矢先、台風の影響でテニスコート水没。コートが復活した時にはコロナ感染症の影響で長期休校思う様に練習ができず、結果も残せず引退してしまい、悔いが残る形になってしまいました。仲間が恵まれ、先生の



助けもあり部長を務めることができました。

息子も春から大学生です。これから楽しいことばかりではなく辛いこともあるはずですが、そんな時こそ笑顔と感謝の気持ちを忘れずに素敵な大人に成長してほしいと願っています。息子に関わっていた皆さんに感謝しています。本当にありがとうございました。

卒業にあたって

柳澤 有美

高校の三年間で娘はとても成長したと感じています。日々の勉強や部活に取り組む姿勢は以前から変わってませんが、自ら積極的にボランティアや生徒会活動に参加するなど、今までにはない一面がとて多く見えるようになりました。一番は、吹奏楽の選抜バンドに参加してみたいと言



われたことです。オーディションを受け、他校の生徒や先生方と共に活動をしたことは娘にとって、とても良い経験になったと思います。春からは大学生になりますが、高校

3年2組



3-2

夢に挑戦! はばたけ吉井高生!!

でのたくさんの経験を活かし、小さい頃からの夢に向かい頑張つて欲しいと思います。三年間支えていただいた方々へ心から感謝いたします。ありがとうございました。

祝卒業

2組担任 茂木 健太郎

保護者の皆様、卒業生のみならず、本日は卒業おめでとうございます。

吉井高校での三年間はいかがだったでしょうか。今年度はコロナという未曾有の出来事があり、生徒のみなさんが登校するのが六月になってからでした。ご家庭でも部活や進路のことなど、不安なことはかりだったかと思えます。しかし生徒たちはその持てる力を発揮して、自分の将来の目標を決め、四十人の一人一人がしっかりと頑張ってくれました。

これから大変なことがあつたとしても、高校時代を振り返って「あの時代を乗り切ったのだから大丈夫」と自信を持って進んでいってくれたら、と思います。

保護者の皆様には、吉井高校での生徒の活動に様々な場面でご協力をいただき、心より感謝申し上げます。保護者の皆様のご協力のおかげで、卒業式を迎えることができました。本当にありがとうございました。

卒業にあたって

高橋 由紀子

時の流れは早いものあり、気が付けばもう高校入学から三年が経とうとしています。

吉井高校での三年間は、娘にとって大変有意義なものになったのではないかと思います。

どの部活に入ろうか悩んだ末に入部を決意した書道部。未経験ではあったものの、娘なりに熱心に取り組み、幾つかの賞を頂くことができました。部活動を通じて経験したこと、悩んだこ



とをこれらの生活に役立てて欲しいです。

また、進

路のことなどで様々な壁にぶつかり悩んだ時期もありました。その都度励まし、支えてくださった友達や先生方、本当にありがとうございました。

最後に、卒業生の皆さん、もうすぐ新たな生活が始まります。辛いこと、大変なことなど沢山あると思いますが、夢に向かって自分らしく進んでいってください。

感謝

西谷 ちひろ

ある日、帰宅した息子から「生徒会長に立候補したから」という突然の宣言を聞いたときの驚きは、「生徒会長になった」という報告を聞いた時よりもずいぶん大きな驚きでした。もともと人の上に立つようなタイプではなかった息子は、やはり、担いでもらい支えてもらうタイプの子供だったようです。たどたどしい足取りではありましたが、周りの方々の献身的なサポートのおかげで、なんとか任期を終え、前



例の無いとても特別な年になってしまいましたが……



3年3組

息子にとっては小さな誇りとなつていようように見えました。

友人に恵まれ、幸運にもとても充実した高校生活を過ごすことができた息子には、感謝する心を忘れずに歩んで行ってもらいたいと思います。

三年間、息子に寄り添っていたいた皆様の、本当にありがとうございました。

祝卒業

3組担任 潮 佳治

保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業生たちが吉井高校での三年間を過ごし、それぞれの将来に向けて一歩を踏み出したのは、保護者の皆様のあたたかいご支援のおかげと深く感謝しております。

今年度から担任として関わらせていただくことが決まりましたが、最終学年としての始まりが休校によってなかなかクラスの生徒との顔合わせもできない事態となりました。不安な日々が続きましたが、学校が再開され、生徒の皆さんの笑顔によって不安も解消されていきました。この先も多くの困難が待ち受けていると思いますが、笑顔で乗り越えていってほしいと思います。

卒業は新たなスタートでもあります。寂しさもありますが、これからは一人の支援者として、常に応援し続けていきたいと考えています。三年間ありがとうございました。

あたりまえに感謝

入澤 順子

伝統ある吉井高ハンド部を先輩から引き継ぎ、キャプテンとして頑張っていた矢先、台風での体育館被害。新人戦前に肘靭帯を切るケガ。コロナの影響で大会が中止、部活もでき



ず。あたりまえにできるはずだったハンドボールが

できない状況に。そんな中、今できることを考え自主練習、部活ができるようになる、いつ大会があつても良いように練習に励んでいた娘にたくましさや成長を感じました。何よりも学校に行けて友達に会ったり、ハンドの仲間と一緒に頑張ることの大切さなど、この状況だからこそ得たものが沢山あつたと思います。一緒に頑張り支えてくれた先生方と仲間たちに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。同じ思いをした三年生、これから新しい道に進みいろんなことがあります。でも大丈夫！この状況で頑張っているのだから、自信をもって進んでいってください。みんなが応援しています。

三年間の財産

木村 聡子

保育を学ぶため吉井高校に入学しての三年間は、決めた進路に向けて頑張ろうという気持ちで取り組んできました。その中



でも特に初めてピアノノレッスンは緊張の連続だったのではないか



3年4組

と思います。全くの初心者だった息子が音符に慣れ、弾けるようになったのを知ったときは「頑張っているんだ、偉いな」という感情が込み上げました。部活動でも頼もしい顧問の先生に恵まれて、士気を鼓舞してきた三年間だったのではないかと思います。夏休み中も部活動に熱心に取り組み、パラボラ型の花弁の研究では成果を発揮し、県大会で優勝することができました。残

祝卒業

念なことに全国大会中止で高知には行けませんでした。目標に向かって仲間と頑張ってきたことは、かけがえのない財産になったと思います。大学でも目標達成に向けて視野を広げ、より多くのことを吸収して欲しいと願っています。三年間お世話になり、ありがとうございました。

4組担任 小林 容子

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。少し大きめの、真新しい吉井高校の制服に初めて袖を通した入学式が昨日のことのように思い出されることでしょう。三年間保護者の方々と共に、担任としてお子様の成長を見守らせていただけたことを大変嬉しく思います。

最後の一年間、誰もがこれまでに経験したことのない状況におかれ、生徒達は長く続いた休校期間や思うようにできない部活動に多くの我慢や葛藤を抱えてきたことと思います。しかし、一人一人が前を向き進路実現に向けて日々努力を重ねる姿は大変立派なものでした。心身共に大きく成長した吉井高校での三年間を今後の人生の肥やしにして、自分にしか咲かせることのできない素敵な花を咲かせてくれることを切に

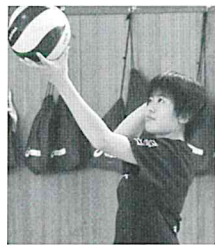
願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様には三年間ご支援、ご協力を頂きありがとうございました。心より感謝申し上げます。

卒業にあたって

高田 美恵子

高校生活の三年間は、あつという間に過ぎていき、もうすぐ高校生活が終わりに近づいています。高校生活を振り返って学校行事や部活動、色々ありましたが、特に頑張っていたのがバレーボールです。小学校からずっと続けてきたバレーをやりたくて吉井高校に入学を決めたこともあり、毎日学校に行くのがとても楽しそうでした。



バレー部では合宿などで食事作りがあつたので、親も学校に行き、セミナーハウスで食事

を作ったり試合観戦したり、お母さん達と話したりで、子供達と同様に、保護者の方でも親達の絆が深まったと思います。最後の年がコロナ禍のため、学校行事、部活動など思うようにできなかったのが本当に心残りだと思えます。

最後に三年間支えてくださった方々に感謝申し上げます。三年間本当にありがとうございました。

卒業にあたって

村松 智美

高校生活も終わりが近づいてきました。この三年間で、本当に大きく成長したことを実感します。入学当初は無事に登校できるのか心配と不安でいっぱいでしたが、毎日早起きをして休むことなく、元気に学校に通うことができました。また、早朝のお弁当作りも楽しみの一つもありました。その中で一番の思い出は、中学から始めたバスケットボールに夢中になったことです。高校でも続けたいという思いも強く、一生懸命頑張っていました。しかし、コロナ禍での部活動練習は、困難だったことと思います。高校最後の大会では、様々な感染対策が取られ、会場での応援ができず残念でした。試合結果は、惜しくも敗れ、悔しい涙を流しましたが、顧問の先生や仲間、後輩達と笑顔で最後は幕を下ろしました。仲の良いバスケットメンバーに恵まれて本当に良かったです。



また、学校生活の出来事を沢山聞くこともでき、楽しい日々を送ることができました。

また、これまで過ごした学校生活や部活動で得た経験を生かして自分の決めた夢に向かって頑張りたいです。この三年間、様々な場面で支えていただいた先生方や友達に心から感謝致します。本当にありがとうございました。

3学年より

3学年主任 湯浅 正義

ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様方には三年間、ご理解・ご協力をいただきありがとうございました。今年度は大変に厳しい一年となりましたが、生徒たちは進路実現に向けて非常に頑張りました。人間的にも立派に成長してくれたと思います。三年前の入学式がこの間のようにも思われます。保護者の方々にもお話しと思いますが、私の息子も同学年であり、家庭では皆様と同じように期待をしたり、心配もしたりとの毎日でした。高校卒業は保護者としても一つの区切りかと思えます。親としての責任を果たした安心感や、親離れをしていく子供たちに対してさびしい気持ちになったりすることもあるかと思いますが、今後の子どもたちの活躍を祈り、見守り続けましょう。



令和2年度

卒業生の進路状況 並びに在校生の進路実現に向けて

一、卒業生の進路状況

【進学】

令和2年度卒業生1,577名中、四五名の進路が決定している(令和三年1月現在)。大学四〇名、短期大学二名、専門学校五二名、就職四〇名。そして二名の生徒が各々の進路実現に向けて、最終追い込みに入った。年度当初、新型コロナウイルス感染症拡大により臨時休校で新学期を迎えるという先行きが不安な一年ではあったが、一五七七名全員が自分の進路目標の実現に向けて全力で立ち向かった。

【就職】

二、在校生の進路実現に向けて

新型コロナウイルス感染症の影響で一ヶ月遅れの十月十六日から採用選考となった。令和2年度高等学校新卒者の求人・求職・内定状況について(厚生労働省群馬労働局令和二年十二月一日)によると、求人倍率は二・六八倍、就職内定率は六六・四%と高い水準であったと報告されている。そのような状況下における本校の特徴として、多数の生徒が公務員採用試験に果敢に挑戦したことが挙げられる。合格者は六名で、うち陸上自衛官四名、群馬県警察二名であった。

三年間の高校生活そのものが進路実現に結びつくことに気付いてほしい。そのために高校に入学してから常に心掛けるべきことを次に挙げる。

- ・欠席や遅刻をしない
- ・基本的な生活習慣の確立
- ・部活動に三年間取り組む
- ・最後までやりきる力
- ・ボランティア活動に参加する
- ・社会貢献(ミニマリーション)能力
- ・検定や資格を取得する
- ・挑戦するたくましさ

授業を大切にしよう
提出物の期限厳守

学習習慣を身につけよう
基礎学力の向上

これらの事柄に対して主体的に取り組むことが自らの進路を切り拓くことにつながっていく。そして一年生のうちから卒業後の進路について意識したい。進学を考える生徒は、同じ分野の学校を複数校調べて、学情情報を集める。オープンキャンパスには積極的に参加する。しっかりと比較検討することで第一志望校を絞り込んでいく。学校パンフレットやホームページを見ただけ、またオープンキャンパスは一校のみ参加しただけでは、安易に志望校を決定することは避ける。進学後に、莫大な学費や時間が無駄になりかねない。慎重に考えたうえで進路目標を決定することが望ましい。先の見えない時代であるからこそ、自分は何をしたいのか、何ができるのかを考えて努力を継続できる人を目指すことが大切である。

(進路指導専事 町田 貴)



令和2年度 3年生の進路先一覧 在籍157人(男子66人・女子91人) (令和3年2月5日現在)

大学 [40人]	短期大学 [13人]	専修・各種学校等 [50人]	一般企業 [35人]	公務員 [6人]
国公立 群馬県立女子大学 [2] 前橋工科大学 [1]	県内私立大 育英短期大学 [7] 新島学園短期大学 [2] 群馬医療福祉大学短期大学部 [2] 高崎商科大学短期大学部 [1] 桐生大学短期大学部 [1]	看護系 前橋東看護学校 [2] 本庄児玉看護専門学校 [2] 専門学校高崎福祉医療カレッジ [2] 富岡準看護学校 [2] 高崎総合医療センター附属高崎看護学校 [1] 伊勢崎敬愛看護学院 [1] 埼玉医科大学附属総合医療センター看護学校 [1]	前橋医療福祉専門学校 [1] 群馬調理師専門学校 [1] 群馬美容専門学校 [1] 高崎動物専門学校 [1] 中央情報経理専門学校 [1] 中央情報大学 [1] 東日本製菓技術専門学校 [1] 東日本デザイン&コンピュータ専門学校 [1] 東日本ブライダル・ホテル・トラベル専門学校 [1]	株式会社 SUBARU 群馬製作所 [1] 株式会社稲葉製作所富岡工場 [1] 株式会社セキチュー [1] ビー・アンド・シー株式会社高崎工場 [1] 新富士化成薬株式会社 [1] 株式会社フレッセイ [1] 株式会社マンナンライフ [1] ミネベアアツミ株式会社松井田工場 [1] ヨコオプレジション株式会社 [1] 株式会社荻野家 [1] 株式会社笠原興業 [1] ワークフォー [1] 高崎倉庫株式会社 [1] 三菱電機群馬製作所 [1] 第一屋製パン株式会社高崎工場 [1] 東京カリント株式会社 [1] 株式会社湯川工務店 [1] 高栄警備保障株式会社 [1] 鳥栖NOK株式会社 [1] 株式会社ミツコロヴェッセル北関東支店 [1]
県内私立大 群馬医療福祉大学 [9] 群馬パース大学 [4] 高崎商科大学 [4] 上武大学 [2] 高崎健康福祉大学 [2] 育英大学 [1] 東京福祉大学 [1] 共愛学園前橋国際大学 [1]	県外私立大 東京工科大学 [2] 駿河台大学 [2] 京都精華大学 [2] 国際医療福祉大学 [2] 城西大学 [1] 新潟医療福祉大学 [1] 日本大学 [1] 東京情報大学 [1] 金沢工業大学 [1]	県内専門学校 大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校 [7] 高崎ビューティーモード専門学校 [4] 東日本栄養医療専門学校 [3] 群馬自動車大学校 [3] 群馬動物専門学校 [2] 前橋東洋医学専門学校 [2] 中央医療歯科専門学校 [2]	校外専門学校 埼玉ベルエポック製菓調理専門学校 [2] 東京ベルエポック美容専門学校 [1] 葵メディカルアカデミー [1] 代々木アニメーション学院 [1] 大宮ビューティー&ブライダル専門学校 [1] 東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校 [1]	公務員 陸上自衛隊 [4] 警察官 [2]

2学年レポート

第二学年一学期の始業式は、分散登校の実施により学年全体が一堂に会することのできない中、各教室で実施されました。以降、屋内において学年が一堂に会するまでには半年以上の時間を必要とし、十二月の講演会において初めて体育館での整列を行うことができました。この間、クラスや部活動の仲間と接する機会は制限され、様々な学校行事も中止となり、不安や落胆の声を多く耳にしました。入学直後と進路決定前の緊張感の狭間で、伸び伸びと生活できるはずの第二学年という時間を、この不測の事態の中で過ごさざるを得なかったことについては、生徒に対し深く共感し理解することが必要なのではないかと感じます。十二月末に生徒が「自分の二〇二〇年を表す漢字」を回答した欄には、予想通り「密」「変」「無」「苦」といった漢字が並び、生活を一変させた現象についての強い印象を感じ取ることができました。この難局を乗り越えようと努力する生徒には、それぞれ、一年間よくがんばったねと伝えたいと思います。

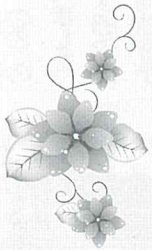
この一年は、誰の心にも、弱気が芽生える瞬間があったのではないのでしょうか。学年としても、生徒の心から希望が薄れ自信が失われることを恐れました。社会全体の停滞の中

で、皆が暗中模索となる事態も想定されました。特に、休校中、生徒が見えない日々はとても不安でした。しかし、裏を返せば、それは同時に生徒を信じる日々でもあり、ご家族の皆様を信じる日々でもありました。そこから勇気をもらうことで、その時やるべきことに集中することができました。非常事態の中、日々を一生懸命に送り、私たちをこのような強い気持ちにさせてくれた生徒と、ご家族の皆様には、感謝の言葉しかありません。

第二学年の生徒は、前向きで、よく感じ、よく考え、自分の力で一步一步進むことができます。進路決定までの残り半年も、今まで以上に強い足取りで進んでくれるものと期待します。もちろん、学力面での物足りなさがあります。生活面で大人になりきれていない部分も多々あります。しかし、きつと大丈夫だと信じています。

最後に、十二月に生徒が回答した漢字で最も多かったものが「楽」であったことを紹介します。人生は、他人に流されていたら楽しくありません。それぞれが自分の力で乗り越えてきた証だと思えます。がんばった生徒達に、ご協力いただいた保護者の皆様に、改めて感謝の言葉を述べさせていただきます。

一年間、ありがとうございました。
(第2学年主任 狩野 圭市)



学 年 報 告

1学年レポート

二〇二〇年四月八日の入学式、十日の分散登校から長い時間が経過いたしました。目に見えないウイルスとの戦いは、感染力の凄まじさに手も足も出ず、〇にすることはできませんでした。〇にならない中で分散登校から通常登校へ切り替わり、その戦いは共存に切り替わり、日々、目に見えないウイルスに恐れながらの生活が始まりました。

これまでできていたことを改め、「今、できること」を選択して、生徒への教育を実践してきた一年でした。学年集会、球技大会、職場体験、日々の授業、部活動などを通して、生徒が少しずつ変化してきたことを頼もしく思っております。その一方で、「見つからなければ…」という姿勢が表面化した携帯電話の利用や授業態度など、成長が必要な面もあり、一人一人の心に届くメッセージの必要性を感じております。

今年度の一年生のテーマは「社会変化に対応していくための学び方を身に付ける」と「社会貢献に生かせる自分の強みを知る」ということでした。

一つ目の「学び方」という点においては、「今、できないこと」による悪い影響があります。本校では、自分の意見と周囲の意見を積極的に交わしながら、学ぶ授業形態の追究を怠りませんでした。それを回避せざるを得ない状況になり、個に委ねる機会が多くなりました。その一方で、個に委ねるシステムとして、年が明



職場体験の様子

を有効に活用して、個に委ねながらも周囲の意見を共有することにより、生徒の思考力や表現力の向上を図っていきたいと考えております。

二つ目の「強みを知る」という点ですが、コロナ禍ではありましたが、多くの企業の協力により、職場体験を実施することができました。働く大人、生き抜く企業を間近に見て、自分に足りないところを知ると共に、強みにしたいところを見つけて、自分自身を磨き、目標とする自分に近づけるよう支援していきたいと考えております。

春になり、社会がどのように変化しても、「今、できること」を最大限に活用して、「社会の変化に対応して社会貢献できる」生徒の資質・能力の向上に努めていきたいと考えております。

(第1学年主任 飯田 貢士)



学校行事報告

球技大会



感染対策

十月十三日(火)、十四日(水)の二日間、球技大会が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症による休業のため、六月に開催を予定していた球技大会を通常通り実施することができませんでした。感染予防に気を配り、対戦クラスとの接触を避けられる種目に限定することで開催することができました。競技種目はバレーボール、ドッジボール、卓球、キックベースボールの四種目で行い、一日目を学年別、二日目を一日目の結果を踏まえたトーナメントで競いました。

両日とも大いに盛り上がり、生徒の笑顔が溢れる大会となりました。



バレーボール



キックベース



ドッジボール



卓球



令和2年度 球技大会成績

1日目リーグ戦

1位のみ表彰 球技大会クラス順位

3 学年

	クラス順位
3年1組	3
3年2組	2
3年3組	3
3年4組	1

2 学年

	クラス順位
2年1組	1
2年2組	2
2年3組	3
2年4組	3

1 学年

	クラス順位
1年1組	3
1年2組	1
1年3組	2
1年4組	4

球技大会総合順位

1・2・3位表彰	総合順位
1年1組	8
1年2組	5
1年3組	4
1年4組	7
2年1組	1
2年2組	3
2年3組	11
2年4組	11
3年1組	10
3年2組	5
3年3組	9
3年4組	2

2日目

決勝トーナメント

競技1位表彰	バレー男子	バレー女子	キックベース	ドッジボール	卓球
1位	2年1組	2年1組	3年4組	1年4組	1年3組
2位	3年3組	2年2組	2年2組	2年1組	1年2組
3位	2年2組	1年3組	1年2組	1年2組	2年1組
3位	3年4組	3年2組	2年1組	3年2組	3年1組

総合成績

- ① 優勝 2年1組
- ② 準優勝 3年4組
- ③ 第3位 2年2組



優勝した2年1組

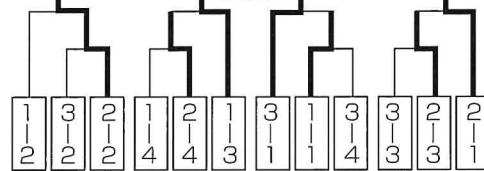
百人一首大会

3位決定戦



優勝

(決勝)



第四十五回校内百人一首大会が十二月十六日(水)十八日(金)で開催されました。今年度は無観客での開催となりましたが、緊張感ある闘いが繰り広げられ盛り上がりました。



A c t i v i t y

運動部の活動

部活動報告

運動部

部名	大会名	成績・活動内容等	
陸上競技部	令和2年度群馬県高等学校体育大会陸上競技選手権大会	男子三段跳 優勝 高橋 優 男子砲丸投 優勝 神部 雄大 男子やり投 第2位 飯野 翔大 女子400mH 第4位 佐藤 夢 女子円盤投 第6位 白石 愛唯	
	令和2年度群馬県高等学校対抗陸上競技大会	男子二部校 総合 第4位 男子二部校 走高跳 第4位 倉林 航大 男子二部校 走幅跳 第7位 高橋 優 男子二部校 三段跳 第2位 高橋 優 男子二部校 三段跳 第8位 倉林 航大 男子二部校 砲丸投 優勝 神部 雄大 男子二部校 円盤投 優勝 神部 雄大 男子二部校 ハママ投 第4位 神部 雄大 男子二部校 やり投 優勝 飯野 翔大 女子400m 第8位 佐藤 夢 女子400mH 第5位 佐藤 夢 女子円盤投 第5位 白石 愛唯 女子やり投 第7位 武藤 蓮華	
	令和2年度群馬県高等学校新人陸上競技大会	女子400mH 第3位 佐藤 夢 女子やり投 第4位 武藤 蓮華	
	令和2年度群馬県高等学校陸上競技強化大会	男子2・3年の部 走高跳 第6位 倉林 航大 男子2・3年の部 三段跳 優勝 高橋 優 男子2・3年の部 砲丸投 優勝 神部 雄大 女子2・3年の部 400m 第2位 佐藤 夢 女子2・3年の部 400mH 第2位 佐藤 夢 女子2・3年の部 円盤投 第3位 白石 愛唯 女子1年の部 やり投 第3位 武藤 蓮華	
	群馬県高等学校総合体育大会 全国高等学校総合体育大会群馬県予選会 全国高等学校バスケットボール選手権大会群馬県予選会 GuBA U18バスケットボールリーグ戦 3部	男子砲丸投 第15位 神部 雄大	
	全国高等学校陸上競技大会2020(広島)	女子400mH 出場 佐藤 夢 女子やり投 出場 武藤 蓮華	
	関東選抜新人陸上競技選手権大会(前橋)	女子七種競技 第6位 佐藤 夢	
	令和2年度群馬県高等学校陸上競技強化混成競技大会		
	バスケットボール部(男子)	GuBA U18 バスケットボール特別リーグ戦 全国高等学校バスケットボール選手権大会県一次予選会 GuBA U18 バスケットボールリーグ戦	2部リーグ 2位 3回戦進出 2部リーグ 優勝
	バスケットボール部(女子)	GuBA U18 バスケットボール特別リーグ戦 全国高等学校バスケットボール選手権大会県一次予選会	3部リーグ 3位 2回戦進出
バレーボール部(女子)	全国高等学校バレーボール選手権大会県予選会	3回戦 2-1 明和県央 4回戦 0-2 高崎女子 ベスト16	
ソフトテニス部(男子)	県高校体育大会ソフトテニス(3年生大会) 県高校夏季ソフトテニス大会 県高校新人ソフトテニス大会 第75回佐藤次郎杯争奪ソフトテニス大会 群馬県ソフトテニス選手権大会	個人戦 2回戦進出(大河原・神保) 団体リーグ戦 2勝1敗 ダブルス 2回戦進出(新井・坂村)(星・神保)他 シングルス 2回戦進出(佐藤) 団体戦 初戦敗退(対農二) 個人戦 2回戦進出(川崎・佐藤)(新藤・小金沢)他 個人戦 3回戦進出(神保) 個人戦 2回戦進出(川崎・佐藤)	
ソフトテニス部(女子)	県高校夏季ソフトテニス大会 県高校新人ソフトテニス大会	個人戦 3回戦進出(櫻井・島田) 団体リーグ戦 1勝2敗 団体戦 初戦敗退 個人戦 3回戦進出(櫻井・島田)	
卓球部	2021年全国日本卓球選手権大会 群馬県予選会 令和2年度群馬県高校新人卓球大会(団体の部)	女子 ベスト64 男子2回戦 男子 1回戦 吉井 0-3 渋川	
ハンドボール部(男子)	令和2年度群馬県高等学校ハンドボール新人大会	第2位	
ハンドボール部(女子)	令和2年度群馬県高等学校ハンドボール新人大会	第3位	
弓道部(男子)	令和2年度 群馬県高等学校体育大会 弓道競技大会 令和2年度 群馬県高等学校弓道選手権大会 令和2年度 西毛地区大会 令和2年度 県高等学校弓道新人大会 令和2年度 第20回東日本高等学校弓道大会県予選会	団体:17位(宮本、峯岸、中野) 予選敗退 個人:宮本7位、峯岸22位、柴崎22位 予選敗退 予選敗退	
弓道部(女子)	令和2年度 群馬県高等学校体育大会 弓道競技大会 令和2年度 群馬県高等学校弓道選手権大会 令和2年度 西毛地区大会 令和2年度 県高等学校弓道新人大会 令和2年度 第20回東日本高等学校弓道大会県予選会	団体:34位(高橋、小井土、櫻井) 予選敗退 個人:櫻井15位、神部15位、三田15位、中野15位、黒田15位、寒河江15位 団体:ベスト23(高橋、和泉、櫻井、小井土) 団体:ベスト24(高橋、松浦、櫻井、寒河江)	



陸上競技部

女子バスケットボール部

女子ハンドボール部

硬式野球部

陸上競技部

男子ソフトテニス部

部名	大会名	成績・活動内容等
サッカー部	令和2年度第99回全国高等学校サッカー選手権大会群馬県大会 高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ2020	1回戦 吉井 0-4 渋川工業 3部リーグ エブロック6位
硬式野球部	2020年群馬県高等学校野球大会 第73回秋季関東高校野球大会県予選	1回戦 吉井 0-8 高崎工 1回戦 吉井 0-15 健大高崎
男子体操部	令和2年度群馬県高等学校体育大会 体操競技大会 令和2年度 群馬県高等学校体操競技新人大会	団体総合 第2位 個人総合 第4位 2年 岡 倫太郎 第6位 1年 設楽 元希 第7位 1年 鈴木 渚生 団体総合 第2位 個人総合 第2位 2年 岡 倫太郎 第5位 1年 鈴木 渚生 第6位 1年 設楽 元希
女子体操部	令和2年度群馬県高等学校体育大会 体操競技大会	個人総合 第7位 2年 内田 來花
テニス部	令和2年度群馬県新人大会個人戦 令和2年度群馬県新人大会団体戦Bプラン(少人数学校対応) 令和2年度団体戦対策研修会	シングルス:地区予選3回戦(井上)、ダブルス:地区予選参加 1回戦:吉井②-1前高、2回戦:吉井0-③熱泉、3位決定戦:吉井0-③伊I 吉井1-②伊商、吉井1-②高経附、吉井1-②市前橋



部活動報告

文化部

Activity

文化部の活動

部名	大会名・成績・活動内容等
音楽部	●第12回音楽部・吹奏楽部合同定期演奏会
美術・陶芸部	●第12回音楽部・吹奏楽部合同定期演奏会 作品展示 ●第9回吉井高校展(校内) 作品展示
吹奏楽部	●校内中庭コンサート ●第12回音楽部・吹奏楽部合同定期演奏会 ●第12回西部地区アンサンブルコンテスト 金管八重奏 金賞・地区代表 打楽器四重奏 銀賞・次点 サクソス三重奏 銅賞 ●第44回群馬県アンサンブルコンテスト 金管八重奏 銅賞
JRC部	●令和2年度地区高等学校青少年赤十字歳末助け合い募金参加
科学部	●第44回全国高等学校総合文化祭/文化連盟賞 自然科学 生物 ●第64回日本学生科学賞 群馬県審査会/生物部門 最優秀賞 ●第68回群馬県理科学研究発表会/高等学校の部生物 審査員奨励賞
文芸部	●高校生文学賞応募や文芸部誌作成のための作品作りを中心に、小説、エッセイ、詩、短歌、俳句などの作品作りに取り組みます。
ハンドクラフト部	●ハンドクラフト部は校内で使用するペーパーホルダーなどを作りました。クラフトテーパーバッグやコースターなども作る予定です。
茶・華道部	●茶道:盆点前のお稽古 ●華道:小原流の生け花のお稽古 職員玄関に飾る
観・コンピュー部	●各種検定の合格に向けて、毎日検定学習に取り組んでいます。
イラスト部	●まんが甲子園 ON-LINE / 式耐マルコゲスト審査員賞 ●第12回音楽部・吹奏楽部合同定期演奏会 作品展示
新聞部	●学校行事の写真撮影を行いました。
書道部	●第29回国際高校生選抜書展 出品 ●第45回群馬県刻字展/奨励賞6名 入選5名 ●第12回音楽部・吹奏楽部合同定期演奏会 書道パフォーマンス ●第3回吉井アートフェスティバル 作品展示 ●令和3年度全国総合文化祭群馬県代表者選抜審査会 出品 ●第9回吉井高校展(校内) 作品展示



PTA活動報告

1. 球技大会支援事業

10月13日、14日



コロナ禍でPTA行事が中止になる中、唯一の支援事業として球技大会で、昨年の好評に引き続き、リングを生徒一人一人に手渡ししました。今年は思う様なPTA活動ができず、残念でしたがこの支援事業で子供たちの笑顔が見られて、非常によかったです。



2. 西毛地区高等学校PTA指導者研修会発表

10月9日



西毛地区高等学校PTA指導者研修会に本年は発表校として参加しました。今年の発表テーマ『進路指導とPTA』。このテーマに沿ってプレゼン資料を一ヶ月間で製作し、発表してきました。例年よりは参加者も絞られた形態でしたが他校のPTAの方々も真剣に耳傾けて頂き、良い成果を上げられました。(五十嵐 祐弥)

PTA 指導者研修会



3年生へ
進路ファイルを贈呈



1学年進路後援会



保護者による就職希望者面接指導

編集後記

今年は、新型コロナウイルス感染症に伴い、先生方を始め、生徒・保護者の皆様におかれましては、学校行事の中止や一斉休校など、やるせない気持ちで過ごした一年だったので、はないでしょうか。この先、どのような世界情勢になるか分からない状況です。ですから、これからの社会を見据える子供たちには社会に出たら臨機応変に対応できる大人になって欲しいと願います。今年も全国でマスクの着用が義務付けられ、それに伴いマスク不足が深刻化しましたね。市販のマスクが買えなくなってしまうとき、ご家庭でマスクを作った方がいたのでないでしょうか。これこそ臨機応変に対応することだと思います。

「あの時は、こうだったね」と笑って言える日常が来ることを願います。
(PTA会報編集委員 金井由美子)

編集委員会スタッフ

● 委員長

● 白木 奏子

● 編集委員

● 金井由美子

● 曾我眞由美

《担当職員》

● 根岸 陽子

● 本木 洋帆

